

物語の内容を順序立てて捉え、

本の紹介を順序立てて組み立てる学習

第1学年

本はともだち

むかしばなしを よもう/おかゆの おなべ

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 学習の見通しをもち、場面の様子や登場人物の行動などについて、自分の感じたことや分かったことを伝えることができました。
- 紹介したい場面の様子や登場人物の行動などについて、場面の順序を捉えたり、話を順序立てて組み立てたりし、分かりやすい本の紹介をすることができました。

大型提示装置の活用による効果



教師が作成した本の紹介を大型提示装置で全体に示すことで、本時の学習の見通しがもてるようにする。

- ・教師が作成した本の紹介を提示し、グループでの共有の仕方を確認することで、1時間の学習の見通しをもつことができるようにする。
- ・本時追究する視点を明確に示し、1時間を通して意識して追究できるようにする。



紹介する児童の作品を大型提示装置で提示することで、全体で共有できるようにする。

- ・場面の様子や登場人物の行動について分かりやすく本の紹介をしている児童の作品を共有し、本時のねらいをまとめる。
- ・場面や登場人物の様子について、「おもしろいな」「分かりやすいな」といった感想を整理する。

教師の指導のポイント

- 「おもしろいな」「分かりやすいな」と感じられる根拠を常に問い、児童に意識させることで、共有の視点を身に付けることができるようにする。
- 「おもしろいな」「分かりやすいな」などの感想について、互いの思いを分かち合ったり、認め合ったりすることができるように、互いの思いや考えを受容する雰囲気をつくる。

タブレット端末でのプログラミング教育ソフト「Viscuit」の活用による効果



紹介したい場面の時間の流れを順序立てて表現したり、紹介する話の流れを順序立てて組み立てたりしながら、論理的な思考を促す。

- ・動かない絵本の場面を、動かして表現できることで、場面の流れをコンパクトに順序立てて捉える思考を促す。
- ・場面の流れをコンパクトにまとめながら、自らが紹介しようとする話の流れを順序立てて組み立てる思考を促す。

教師の指導のポイント

- 一人一人が文章のどの叙述に対して、どのような感想をもったのかを共有しやすくするための配慮を大切にする。